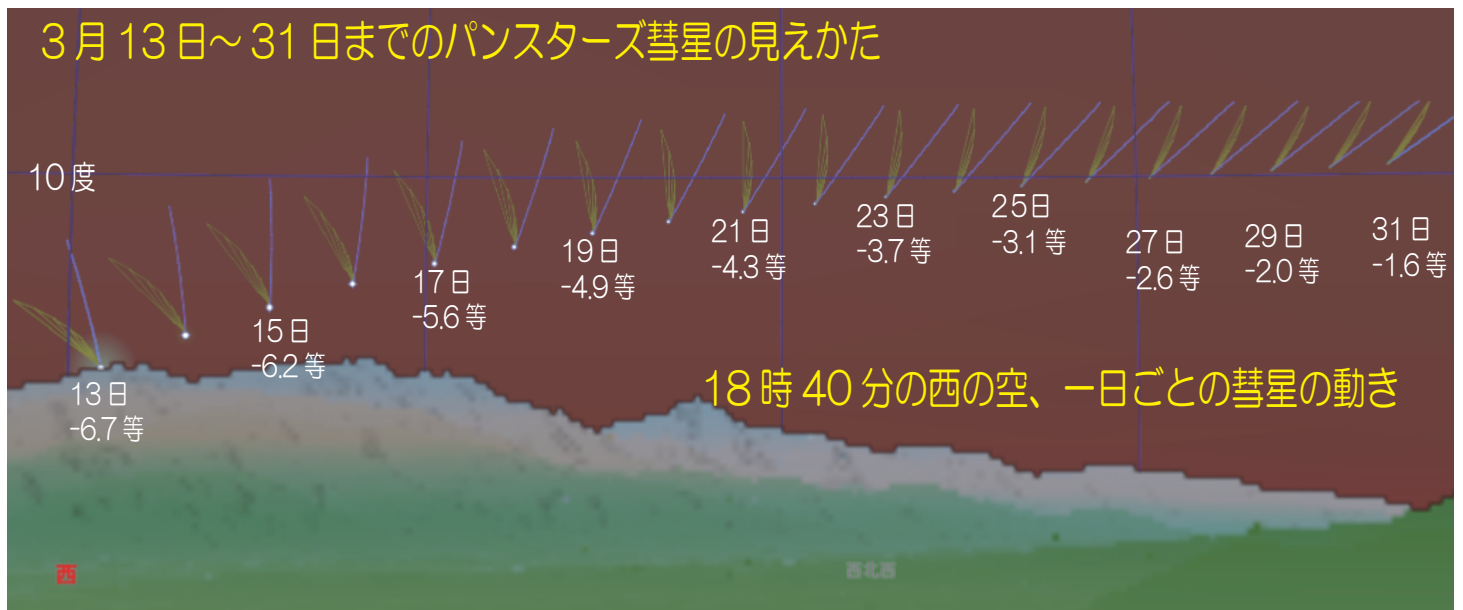


★ 2013 年 星空予報 ★

2013 年も、見てみたくなる天文現象がいくつも起こります。特に注目したいのが、3月に見ごろを迎える「パンスタース彗星」と、11月～12月にかけて見られる「ISON（アイソン）彗星」ではないでしょうか。その他にも8月の「スピカ食」等の、興味深い現象が起こります。

～ 2013 年の天文現象ここに注目！ ～

- 1月 3日 しぶんぎ座流星群が極大（3日夜10時ごろが見どころ）
- 2月22日 木星が夕方、南の空に高く見える
- 3月10日 **パンスタース彗星が太陽に最も近づく。（近日点通過）**
13日過ぎには夕方西の空低い所に、次第に暗くなりながらも、一月以上は明るく見えると予報されている。



- 4月26日 部分月食 欠けはじめ4時22分 食の最大5時8分（5時1分に月の入りなので、欠けたまま沈む満月が見られる。科学館周辺では4時34分ごろ、楕円山に沈む様子が見られる）
- 4月29日 土星が見ごろを迎え、一晩中見られる。
- 6月13日 この頃、水星が夕方西の空で比較的に見やすくなる。
- 8月12日 **スピカ食（月がおとめ座のスピカをかくす）**
潜入：18時46分 出現19時24分 潜入時はまだ空が明るい
ため、見るためには双眼鏡や望遠鏡が必要になるが、出現時は空が暗いので肉眼でも見やすい。

8月12日スピカ食の様子



潜入時のイメージ

8月13日 ペルセウス座流星群極大（午前3時）

（12日夜から、13日明け方にかけてが見ごろ。夜半前には月が沈み、多くの流れ星が期待できる。）

9月19日 中秋の名月

10月21日 オリオン座流星群が極大

（21日夜から22日明け方にかけてが見ごろ、ただし満月直後の月があり一晩中空が明るい）

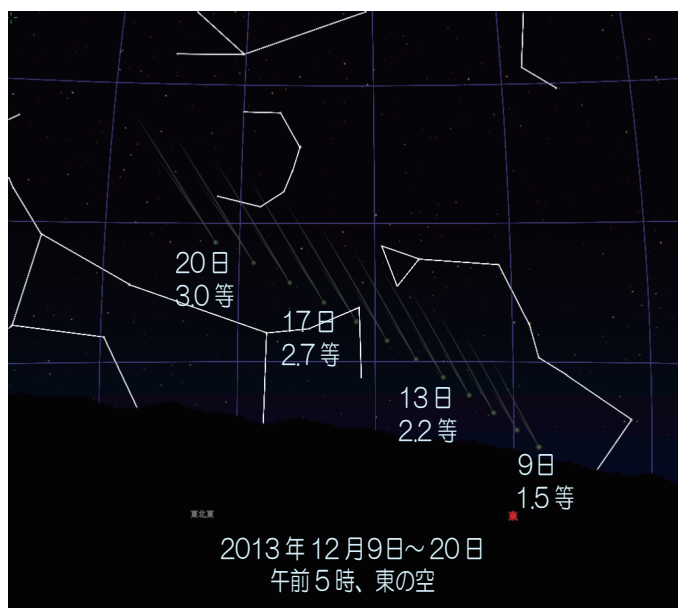
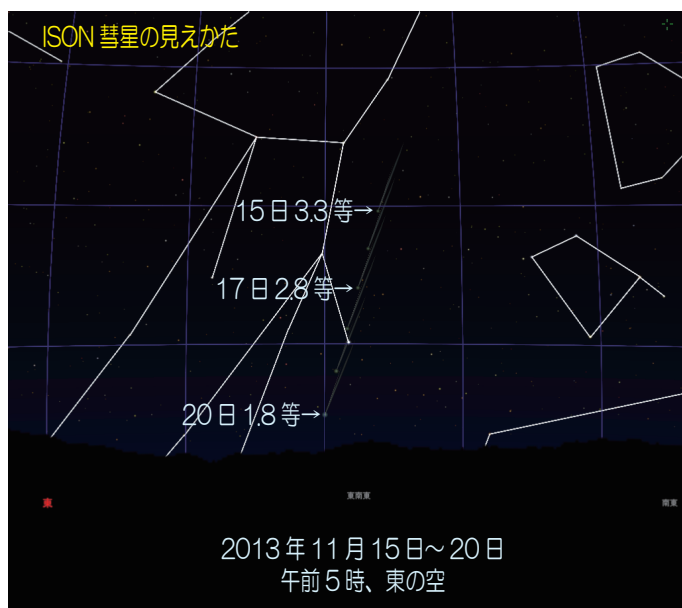
11月1日 この頃、金星が夕方西の空高い所で明るく輝く。

11月17日 しし座流星群極大

（ちょうど満月にあたり、一晩中空が明るいがとても明るい火球が出現する可能性もある）

11月29日 ISON（アイソン）彗星が太陽に最も近づく（近日点通過）

11月中旬～22日頃、12月8日～明け方前の東の空に見える。暗くなってきているが12月20日過ぎ位からは日没後、北西の空にも見えている。



※彗星の位置、明るさは直前の情報を元にしてください。今回の数字はあくまでも目安です。

12月14日 ふたご座流星群極大（下弦前の明るい月がある）

画像は全てアストローツ・ステラナビゲーターにて作成